

§3 3学期の生徒指導とエンカウンター

◆道徳で役立つエクササイズと展開②

☆1月の効果的実践プラン

牛さんの絵を見合って ほめよう

ねらい 2学期に線で描いた「牛さん」の絵を見合いながら、良い点を中心に感想を言い合い、自分の良さ・友達の良い点を発見することができる。

場所・形態・時間・準備 教室・45分×2

1 活動の構想

〈事前〉

○学習シートに「題名」「描きたかった牛の様子」を各自記入。グループ（6人）の友達から、自分の絵の良い点を書いてもらう。

① インストラクション 5分

○エクササイズについての説明をする。
○ねらいやルールについて確認する。

（グループの中でペアを作る）

- ・「題名」と「描きたかった牛の様子」を言う。（お互い）
- ・良い点を中心に感想を言い合う。
- ・「ありがとうございました」。（握手）

② エクササイズ 30分

- ・題名、牛の様子について（1分）
- ・二人組（ペア）になって、最初に言う友だちに手を挙げてもらう。
- ・聞く側はうなずいて聞く。（30秒）
- ・交替する。（30秒）
- ・「ありがとうございました」と言った後、握手をする。（ペアを交替する）

・時間が余ったら、他のグループの人とペアを組んでやる。

③ シェアリング 10分

・感じたこと、気づいたことについて発表。

2 指示・留意点

① グループの友達から、自分の絵の良い点を「言葉」で伝えてもらいます。グループの中でペアになったらすわりなさい。

・やり方を実際にやってみせる。

② 最初の10分間は先生の合図でやってもらいます。後の20分間は、自由にペアを組んでやります。

・自由に組ませたときに、自分からペアを組めない子を支援する。

③ 感じたこと・気づいたことを学習シートに書いて発表しましょう。

（渡邊 由紀・原 一宏）

牛さんの絵を見合って ほめよう

のびのびとしたせんで牛をかこう
だい（ ）牛

なまえ

（れい：もようがいっぱいある牛・かわいくてこっちを見ている牛など）

| | | |
|-------|-------|-------|
| ()より | ()より | ()より |
| ()より | ()より | |

えがきたかった牛のようす

ともだちからほめてもらったこと（かんじたこと・きづいたこと）

§3 3学期の生徒指導とエンカウンター

◆道徳で役立つエクササイズと展開②

☆3月の効果的実践プラン

「ありがとう」の感謝の気持ちを伝えよう

ねらい 今まで過ごしてきた友達に、「ありがとう」の感謝の気持ちを伝えることで、自他発見の心地よさを味わい、友情を深め、広げていこうという気持ちを育てる。

場所・形態・時間・準備 教室・45分×3

参考文献 『エンカウンターで学級が変わる part 2』（小学校編）国分康孝監修（図書文化）2000 p.106「言葉のおくりもの」『構成的グループエンカウンター・ミニエクササイズ56選』（小学校版）八巻寛治著（明治図書）2009「言葉のプレゼント」p.86

1 活動の構想

〈事前に〉

・こんなことしてもらってうれしかった、あのときの姿はとっても良かったことなど日頃の活動として「メモ」（「讚嘆日記」とよんでいる）^{さんたん}させておく。自分以外の友達の良さが全員書けているかチェックする。カードに記入。メッセージカードを切って袋等にしまっておく。

① インストラクション 5分

- エクササイズについての説明をする。
- ねらいやルールについて確認する。
 - ・だまってやること。
 - ・机の上は何もない状態にしておく。
- 質問があれば答える。

② エクササイズ 30分 BGMを流す

- ・静かに心を込めて、自分以外の友達の机にカードを置いていく。（裏返して）
- ・集まったカードを読みながら予め用意してあった自分の袋に入れていく。（次の時間に画用紙に貼る）

③ シェアリング 10分

○感じたこと、気づいたことについてシェアリングする。

2 指示・留意点

① 前の時間に、友達に「ありがとう」の感謝の気持ちをこめて、カードを書きましたね。今日はそのカードを友達に配って伝えていきます。「友達」や「自分」の良さをたくさん見つけられるといいですね。

・事前に書いたカードを机上に出させる。

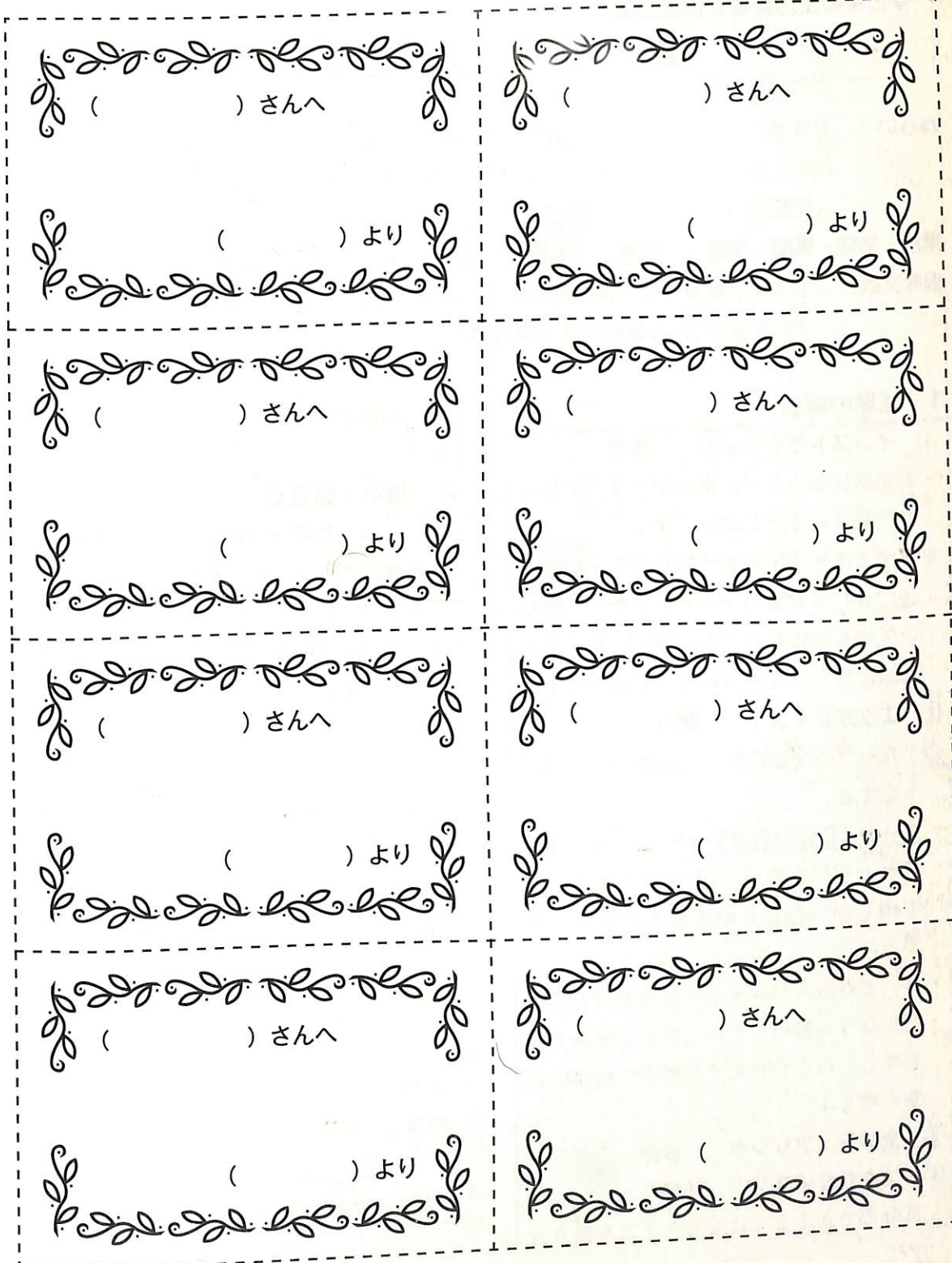
② それではカードの入った袋をもって、だまって心を込めて、ていねいに友達の机の上に置いていきましょう。前の友達の上に重ねて裏返しにして置いていきましょうね。全員配り終わったら席に着きましょう。

③ 先生の合図で友達のメッセージを心の中で読んで下さい。「感じたこと」「気づいたこと」を発表しましょう。

・友達や自分の良さに気づいたり、友達っていいなと感じたりできればよい。

〈原 一宏〉

ありがとう!!かんしゃのさもちをみんなにおくろう



§3 3学期の生徒指導とエンカウンター

◆ 日常生活指導で役立つエクササイズと展開

☆ 1月の効果的実践プラン

ありがとうプレゼント

ねらい お世話になった人たちに感謝の気持ちを言葉のプレゼントとして伝えることで、友達や上級生、先生方のよさに気づき、自己理解・他者理解を促進する。【望ましい人間関係の形成】

場所・形態・時間・準備 教室・グループ・40分+15分・プレゼントカード

参考文献 小学校学級づくり 構成的グループエンカウンターエクササイズ50選「ことばのプレゼント」 八巻寛治著（明治図書）

1 活動の構想

① インストラクション 5分

・ お世話になった人にありがとうの気持ちを言葉にしてプレゼントする。

※ まずエクササイズ1で同じグループの友達に対して言葉のプレゼントをし、温かい気持ちを味わわせる。その後、相手をお世話になった人たちに広げるようにする。

② エクササイズ1 30分

◎ グループの友達に対して言葉のプレゼントをする。

・ カードに自分の名前を書き、机の上に置く。
・ メッセージを書く。（友達にしてもらって嬉しかったことやその人のよさを書く。）

・ 書いてもらったメッセージを無言で読む。
・ 円になり、書いてもらった人と無言で握手をし、目を合わせて心の中で感謝の言葉を唱える。

③ 全体シェアリング 5分

④ エクササイズ2 15分

自分のできるようになったことを振り返

り、お世話になった人に言葉のプレゼントをする。

2 指示・留意点

① この一年間でお世話になった人たちに、ありがとうの気持ちを伝える「ありがとうプレゼント」をしましょう。

② グループの友達にメッセージをプレゼントしましょう。グループ（4人）の友達一人一人のカードを書きましょう。書き終わったら裏返しにして待ちましょう。みんなが終わったら、だまって読み、握手しましょう。

・ 一つの円になり、感謝の意思表示をする。
※ 目を合わせたり、握手の仕方を工夫したりして感謝の気持ちを伝えるとよい。

③ 今どんな気持ちかをみんなの前で伝えてください。

・ 気持ちを伝える・伝えてもらうよさ、自他の新しい発見を意図的に取り上げる。

④ お世話になった人を思い浮かべ、ありがとうの気持ちをカードに書く。

〈小澤美弥子〉

ありがとうのプレゼントカード

さんへ

☆ いままでありがとう。こんなところがよかったですよ！



より



より



より



より

さんへ



さんへ

